



第69回 日本癌学会学術総会  
The 69th Annual Meeting of The Japanese Cancer Association

ランチョンセミナー (LS34)  
Luncheon Seminar (LS34)

幹細胞と癌幹細胞におけるWnt シグナリング;  
2種類のコアクチベーターについて

～WaferGen 社製次世代型高密度リアルタイムPCR システムSmartChip を用いた研究例～  
Wnt Signaling in Stem Cells and Cancer Stem Cells; A Tale of Two Coactivators

Wnt遺伝子は細胞増殖及び細胞分化の強力な制御因子と考えられております。Wnt/ $\beta$ カテニン経路は通常の生理学的過程と病態生理学的過程の両面で重要なシグナル伝達カスケードを発生しますが、その細胞増殖・細胞分化の制御シグナルの理論はまだ解明されておられません。南カリフォルニア大学Michael Kahn先生は、癌を含む多様な病態が $\beta$ カテニンによるコアクチベーター使用における不均衡と密接な関係があるとの考えに基づき、CBP/ $\beta$ カテニン相互作用における選択的小分子拮抗薬の開発をされております。

この研究において、Wafergen Biosystems社のSmartChipが用いられており、一つの研究事例として皆様にご紹介させていただきます。

座長 大阪府立成人病センター研究所 研究所長 加藤 菊也 先生  
Kikuya Kato, MD, Ph.D.  
Professor & Director, Research Institute, Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases

演者 Michael Kahn, Ph.D.  
Provost's Professor of Medicine and Pharmacy, The Eli and Edythe Broad Center for Regenerative Medicine and Stem Cell Research at the University of Southern California

講演日時 2010年9月24日 (金) 12:00～12:45  
Friday, September 24, 2010

会場 第14会場 リーガロイヤルホテル大阪 2F 桐の間  
Room 14, RIHGA Royal Hotel Osaka 2<sup>nd</sup> Floor Kiri

ランチョン整理券配布について(無料)

配布日時: セミナー開催日 7:30～チケットがなくなり次第終了

配布場所: ①大阪国際会議場 5階 総合受付 ②リーガロイヤルホテル大阪 1階 正面玄関

\* 整理券をお持ちの方より、優先的にご入場いただけます。数に限りがございますので予めご了承ください。

共 催: 第69回 日本癌学会学術総会